

## ■ 「Internet Explorer 5.5 SP2」をご利用の場合の設定方法

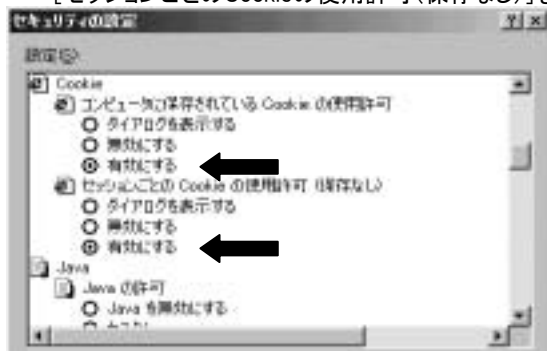
### 1. BACREXを利用するための標準的な設定

#### [1] WWWブラウザの設定

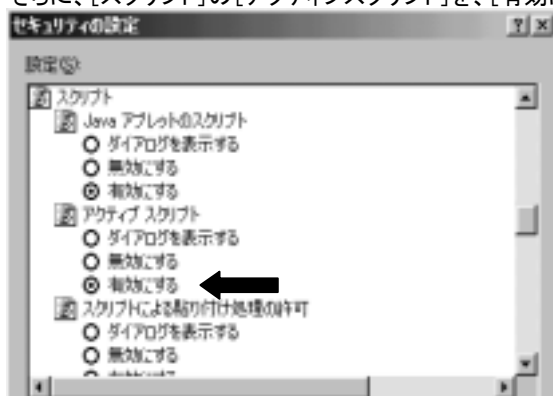
- (1) Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[インターネットオプション]を選択します。
- (2) [セキュリティ]タブをクリックします。



- (3) [Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]の中から、[インターネット]をクリックします。
- (4) [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
- (5) [セキュリティの設定]ダイアログの[Cookie]の項目を、次のように設定します。
  - ・ [コンピュータに保存されているCookieの使用許可]を、[有効にする]に設定
  - ・ [セッションごとのCookieの使用許可(保存なし)]を[有効にする]に設定



- (6) さらに、[スクリプト]の[アクティブスクリプト]を、[有効にする]に設定します。



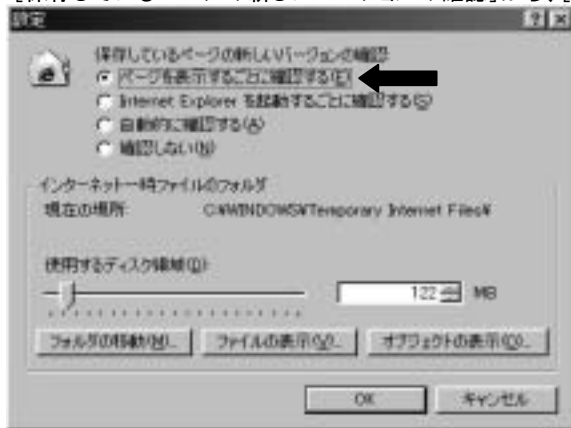
- (7) [OK]ボタンをクリックします。

(8) [全般]タブをクリックします。



(9) [インターネット一時ファイル]の[設定]ボタンをクリックします。

(10) [保存しているページの新しいバージョンの確認]から、[ページを表示することに確認する]をクリックします。



(11) [OK]ボタンをクリックしていき、Internet Explorerの画面に戻ります。

2. ブラウザ型で帳票を利用する場合に必要な設定  
ブラウザ上で、帳票イメージによる表示・印刷を行うシステムの場合は、[1. BACREXを利用するための標準的な設定]に追加して以下の設定も必要です。

[1] WWWブラウザの設定 (ActiveXコントロールの設定)

ブラウザ型にてご利用される場合は、帳票表示機能にて使用するためActiveXコントロールの設定を行います。

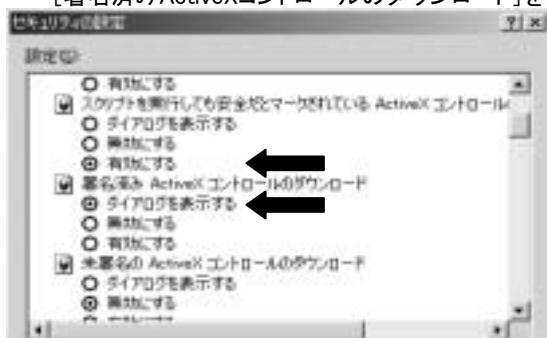
- (1) Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[インターネットオプション]を選択します。
- (2) [セキュリティ]タブをクリックします。



- (3) [Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]の中から、[インターネット]をクリックします。
- (4) [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
- (5) [セキュリティの設定]ダイアログの[ActiveXコントロールとプラグイン]の項目を、次のように設定します。
  - ・ [ActiveXコントロールとプラグインの実行]を、[有効にする]に設定



- ・ [スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行]を、[有効にする]に設定
- ・ [署名済みActiveXコントロールのダウンロード]を、[ダイアログを表示する]に設定



- (6) [OK]ボタンをクリックしていき、Internet Explorerの画面に戻ります。

[2] 実行時の注意事項 (ActiveXコントロールのインストール)

- (1) 帳票表示の際、ActiveXコントロールがインストールされていない場合やバージョンが古い場合に、以下のダイアログが表示されます。その際は[はい]をクリックして、ActiveXコントロールをインストールします。  
[表示ダイアログの例]



## ■「Internet Explorer 6.0」以降をご利用の場合の設定方法

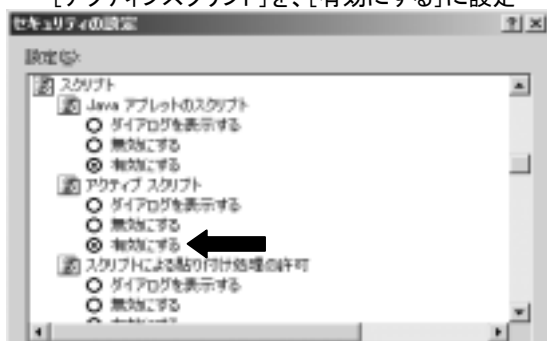
### 1. BACREXを利用するための標準的な設定

#### [1] WWWブラウザの設定

- (1) Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[インターネットオプション]を選択します。
- (2) [セキュリティ]タブをクリックします。



- (3) [Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]の中から、[インターネット]をクリックします。
- (4) [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
- (5) [セキュリティの設定]ダイアログの[スクリプト]の項目を次のように設定します。
  - ・ [アクティブスクリプト]を、[有効にする]に設定

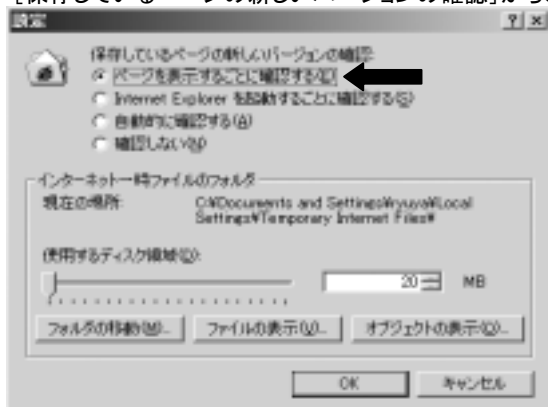


- (6) [OK]ボタンをクリックします。
- (7) [全般]タブをクリックします。

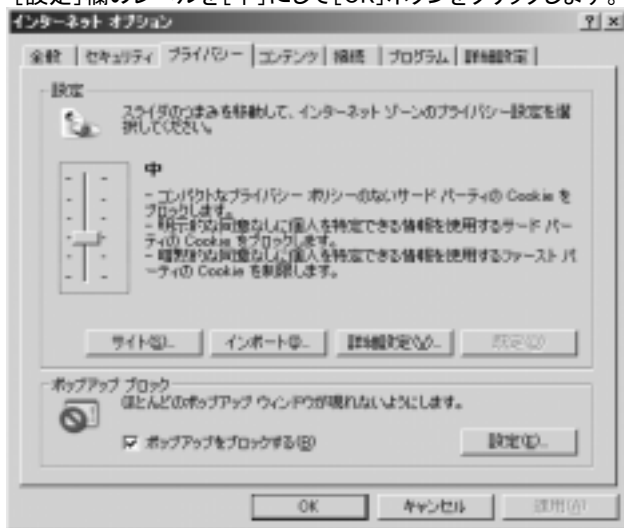
- (8) [インターネット一時ファイル]の[設定]ボタンをクリックします。



- (9) [保存しているページの新しいバージョンの確認]から、[ページを表示することに確認する]をクリックします。

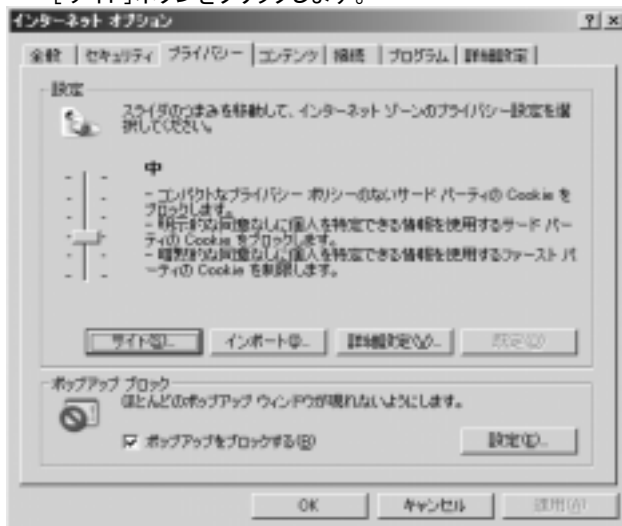


- (10) [OK]ボタンをクリックします。  
(11) [プライバシー]タブをクリックします。  
(12) [設定]欄のレベルを[中]にして[OK]ボタンをクリックします。

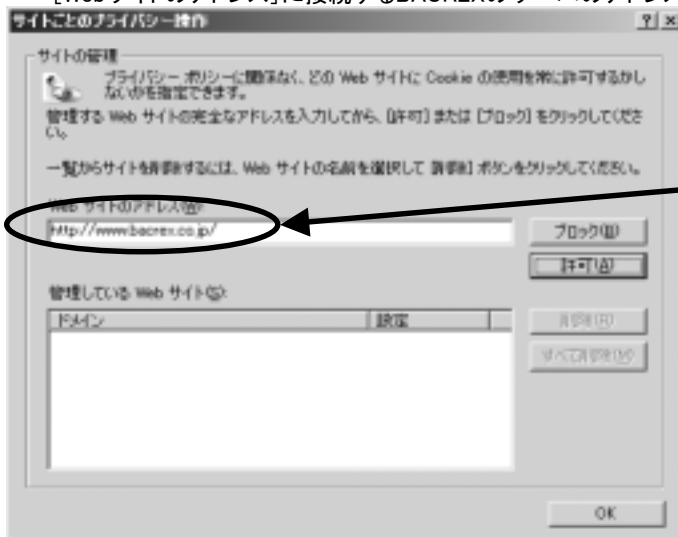


※ ネットワークポリシー等の理由により[設定]欄のレベルを[中]以下にできない場合などは、以下の設定を行ってください。

- ・ [サイト] ボタンをクリックします。

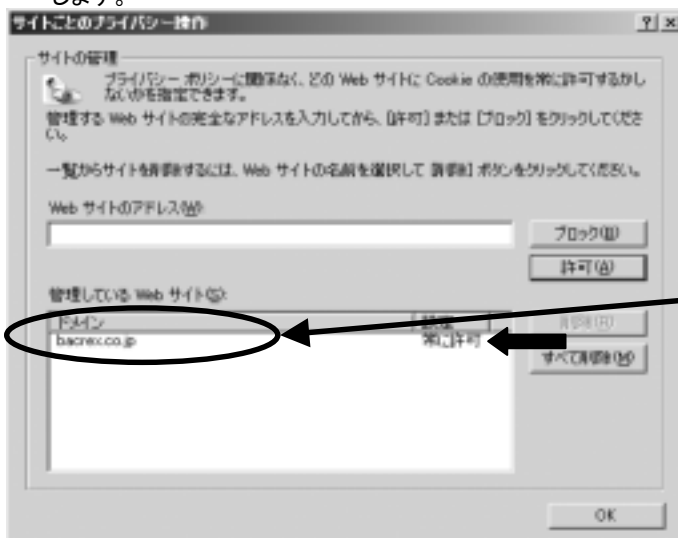


- ・ [Webサイトのアドレス]に接続するBACREXのサーバのアドレスを入力し、[許可]ボタンをクリックします。



https://www.edi-tsuruya-corp.com/  
と入力してください。

- ・ [管理しているWebサイト]に登録されたドメインが[常に許可]となっていることを確認し[OK]ボタンをクリックします。



www.edi-tsuruya-corp.com  
と表示されます。

(13) [OK]ボタンをクリックしていき、Internet Explorerの画面に戻ります。

2. ブラウザ型で帳票を利用する場合に必要な設定  
ブラウザ上で、帳票イメージによる表示・印刷を行うシステムの場合は、[1. BACREXを利用するための標準的な設定]に追加して以下の設定も必要です。

[1] WWWブラウザの設定 (ActiveXコントロールの設定)

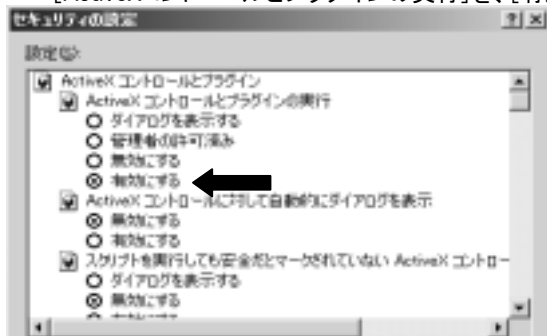
ブラウザ型にてご利用される場合は、帳票表示機能にて使用するためActiveXコントロールの設定を行います。

- (1) Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[インターネットオプション]を選択します。  
(2) [セキュリティ]タブをクリックします。

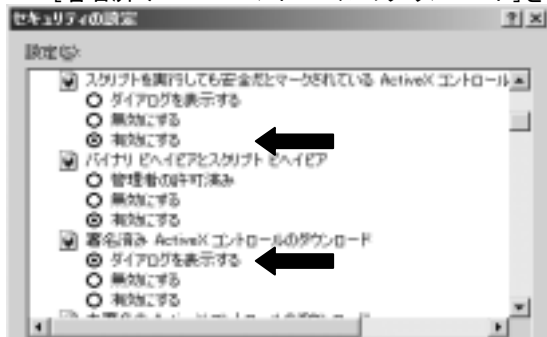


- (3) [Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]の中から、[インターネット]をクリックします。  
(4) [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。  
(5) [セキュリティの設定]ダイアログの[ActiveXコントロールとプラグイン]の項目を、次のように設定します。

- ・ [ActiveXコントロールとプラグインの実行]を、[有効にする]に設定



- ・ [スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行]を、[有効にする]に設定
- ・ [署名済みActiveXコントロールのダウンロード]を、[ダイアログを表示する]に設定



- (6) [OK]ボタンをクリックしていき、Internet Explorerの画面に戻ります。



- [2] 実行時の注意 (ActiveXコントロールのインストール)  
帳票表示の際、ActiveXコントロールがインストールされていない場合やバージョンが古い場合に、以下のダイアログが表示されます。その際は「インストールする」をクリックして、ActiveXコントロールをインストールします。



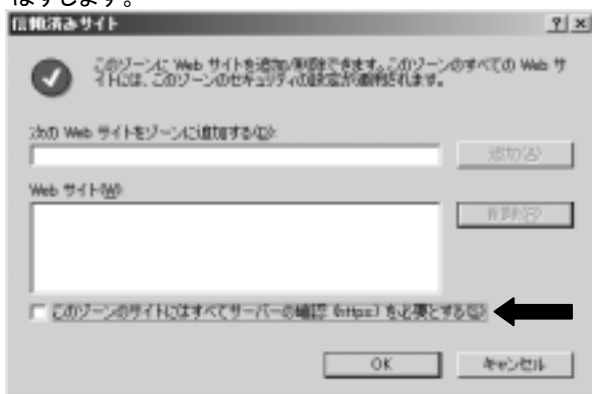
### 3. Windows XP SP2 以降をご利用の場合に必要な設定

#### [1] 信頼済みサイトの設定

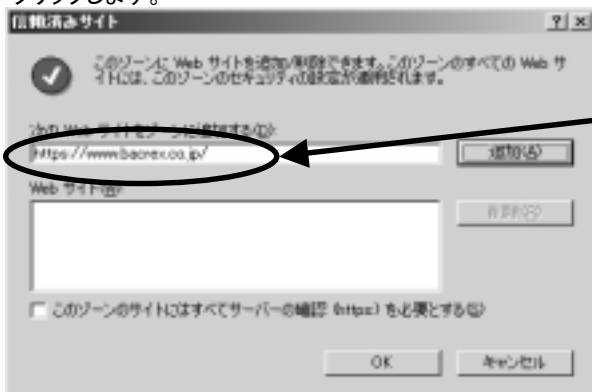
- (1) Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[インターネットオプション]を選択します。
- (2) [セキュリティ]タブをクリックします。



- (3) [Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]の中から、[信頼済みサイト]をクリックします。
- (4) [サイト]ボタンをクリックします。
- (5) [このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認(https)を必要とする]がチェックされている場合、チェックをはずします。

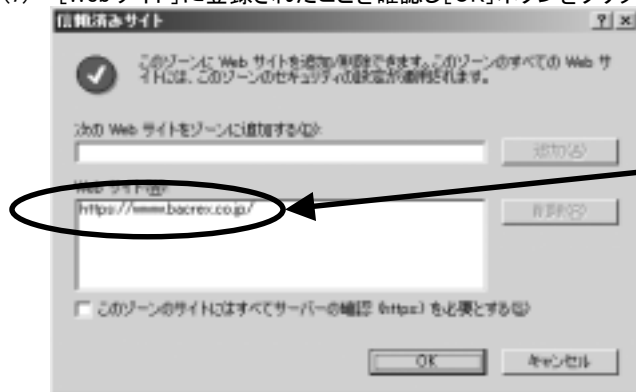


- (6) [次のWebサイトをゾーンに追加する]に、接続するBAGREXのサーバのアドレスを入力し、[追加]ボタンをクリックします。



https://www.edi-tsuruya-corp.com/  
と入力してください。

- (7) [Webサイト]に登録されたことを確認し[OK]ボタンをクリックします。



https://www.edi-tsuruya-corp.com/  
と表示されます。

- (8) [OK]ボタンをクリックしていき、Internet Explorerの画面に戻ります。  
(9) WWWブラウザの設定



「1. BACREXを利用するための標準的な設定」、「2. ブラウザ型で帳票を利用する場合に必要な設定」で、  
[インターネット]に対して行った[レベルのカスタマイズ]作業を、[信頼済みサイト]に対しても行います。

[2] Internet Explorerのポップアップブロックの設定

Windows 2003 Server 等では、[信頼済みサイトの登録]を行ってもポップアップをブロックする場合があります。その場合、Internet Explorer のポップアップブロックの設定を行ってください。ログインの際、ユーザID・パスワードを正しく入力しても、以下のような画面が表示され、メニュー画面が表示されない場合は、ポップアップがブロックされていることが考えられますので、ブロック解除の設定を行ってください。

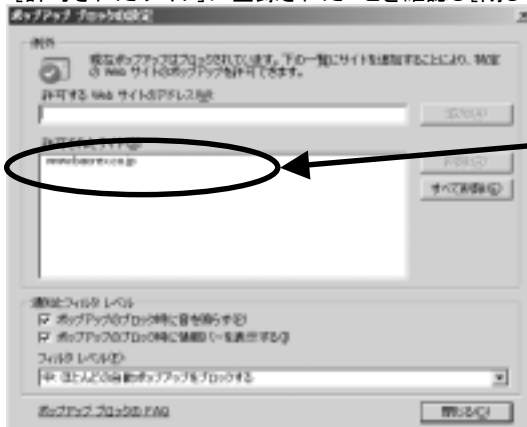


- (1) Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[ポップアップブロック | ポップアップブロックの設定]を選択します。
- (2) [許可するWebサイトのアドレス]に、接続するBACREXのサーバのアドレスを入力し、[追加]ボタンをクリックします。



https://www.edi-tsuruya-corp.com/  
と入力してください。

- (3) [許可されたサイト]に登録されたことを確認し[閉じる]ボタンをクリックします。



www.edi-tsuruya-corp.com  
と表示されます。

## ■その他の設定

1. ポップアップブロックの設定(ブロック解除)  
BACREX ではポップアップ機能を使用します。Google、Yahoo!などの各種ツールバーやセキュリティソフト等をインストールしている場合は、設定が必要となります。

[1] Google ツールバーの場合 (Ver 3.0.131.0での例)

- (1) Internet Explorerを起動し、[Google ツールバー]メニューから[xx をブロックしました](ポップアップ設定ボタン)をクリックし、ポップアップを許可します。



- (2) ポップアップ設定ボタンが[ポップアップを許可]となっていることを確認します。



[2] Yahoo! ツールバーの場合 (Ver 5.3.15.3での例)

- (1) Internet Explorerを起動し、[Yahoo! ツールバー]メニューから[ポップアップブロック | ポップアップの表示を許可するサイト一覧]を選択します。



- (2) [ポップアップの表示を許可するサイトの追加]に、接続するBACREXのサーバのアドレスを入力し、[追加する]ボタンをクリックします。



<https://www.edi-tsuruya-corp.com/>  
と入力してください。

- (3) [ポップアップの表示を許可するサイト]に登録したサイトが追加されていることを確認し、[閉じる]ボタンをクリックします。



- [3] セキュリティソフトがインストールされている場合  
Norton Internet Security などのセキュリティソフトがインストールされている場合、ポップアップウィンドウの遮断機能により、ポップアップがブロックされる場合があります。  
そのような場合は、インストール製品のマニュアルを参照し、接続サイトでのポップアップを許可するよう、必要な設定を行ってください。

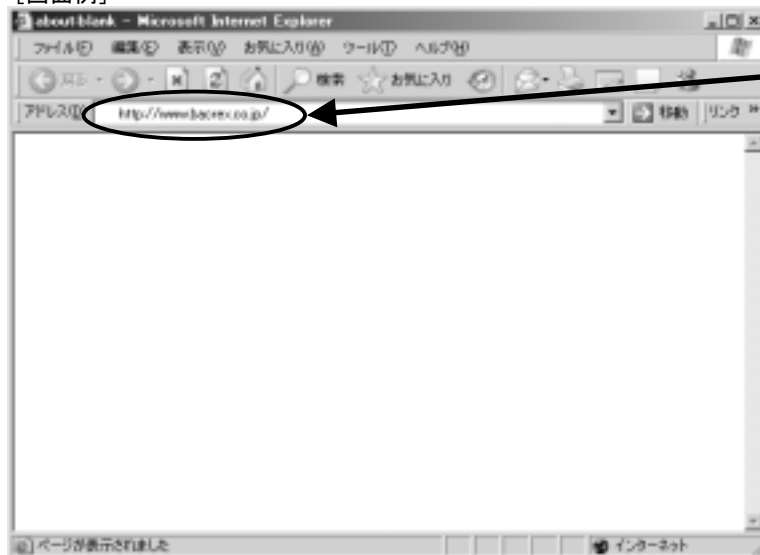
## ■BACREX利用時の動作に関する注意事項

### 1. BACREX利用時の動作に関する注意事項

#### (1) BACREXへの接続について

Internet Explorerを起動し、[アドレス]欄に接続するBACREXのサーバのアドレスを入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

[画面例]



<https://www.edi-tsuruya-corp.com/ku1/>と入力してください。

#### (2) ユーザIDのロックについて

ログイン画面で連続して数回パスワード入力を間違えると、セキュリティ機能が働きユーザIDがロックされます。その際はBACREXサーバの管理者に連絡し、ユーザIDのロックを解除してもらう必要があります。

※ 回数の設定は、サーバ側で設定されていますので、システム管理者へお問い合わせください。

[ユーザIDロック時のメッセージ画面の例]



- (3) 不正アクセスについて  
ログイン処理を行わずに、WWWブラウザの[お気に入り]から直接アクセスした場合などは、セキュリティ機能が働き「不正なアクセス」として処理されます。アクセスの際はログイン画面から処理を行ってください。

[不正アクセス時のメッセージ画面の例]



- (4) 接続タイムアウトについて  
画面操作をしないまま一定時間経過すると(デフォルトでは30分)、セキュリティ機能が働きタイムアウトとなります。タイムアウトの際は、再度ログイン画面から作業を行ってください。

[タイムアウト時のメッセージ画面の例]





(5) 使用可能時間について

BACREXではサーバ管理者により、各機能ごとにスケジュールを設定することができます。以下のようなメッセージが表示された場合は、使用可能時間外ですので、使用可能な時間帯に再度作業を行ってください。  
尚、使用可能な時間帯につきましては、サーバ管理者にお問い合わせください。

[使用可能時間外の時のメッセージ画面の例]

